

酒田の未来、考えよう

若手主体の「研究会」発足

地元・酒田市の将来像を語り合い、今後のまちづくりにつなげようと同市に在住、勤務する20〜40歳代のグループ「未来の酒田ビジョン研究会」が発足した。グループは民間企業や酒田市役所などに勤める約30人で構成し、通称「酒田未来塾」。9月まで毎月1回程度、会合を開き、酒田の魅力や課題などを探る。

市は中心市街地活性化やJR酒田駅周辺の再開発、酒田商業高の跡地利用などのプロジェクトを抱えている。こうした中、次を担う若手が自らの未来のために考え、行動しようと酒田商工会議所がメンバーを募集し、同塾を立ちあげた。初会合は同市の酒田産業会館で16日夜に開催。出席者はそれぞれ「大好きな酒田のために役立ちたい」「毎日が酒田まつりのような、活気のある街にしたい」「なごみ広場動機や意欲を語った。続いて同塾のコーディネーターを務める商創研(東京)の松本大地代表取締役が「中心」とエールを送った。

市街地の現状と課題、そして酒田の未来」と題し、講演した。同塾は今後、地域資源を考えるワークショップや短期・中期的なまちづくりなどを検討する予定。初会合に出席した丸山至副市長は「遠慮なく意見を聞かせてほしい。必ず政策に反映させたい、との思いでいる」

庄内

地域の情報をお寄せください
 酒田支社 0234(22)1580
 鶴岡支社 0235(22)2810



若い力をまちづくりにつなげようと、未来の酒田ビジョン研究会が発足した
 一酒田市・酒田産業会館